

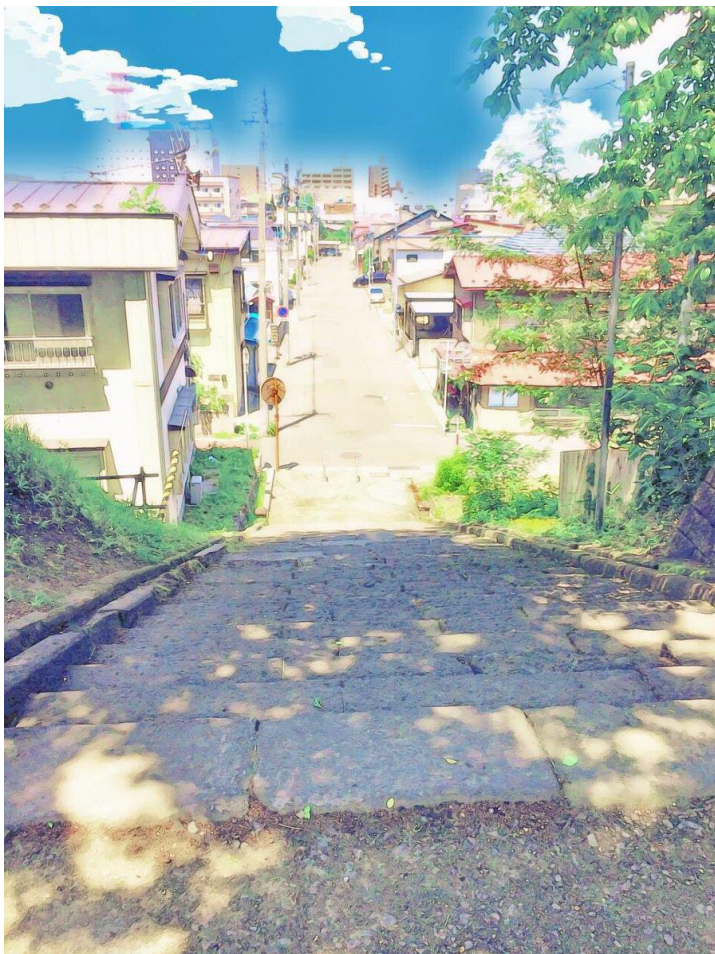
アクション21 環境経営レポート

（対象期間 ： 2023年 7月～2024年 6月）



環境経営レポート 目次

- 1 取組の対象組織・活動の明確化
- 2 環境経営方針の策定
- 3 法規及びその他の要求事項の取りまとめと遵守チェック表
- 4 環境経営目標及び環境経営計画(次年度の取組内容)
- 5 環境活動実施計画書及び評価
- 6 実施体制の構築
- 7 代表者による全体の評価と見直し・指示



EA-01	1. 取組の対象組織・活動の明確化		作成日：2012年4月17日
			更新日：2024年7月1日
			作成者：北島 大介
取組の対象組織・活動 ■組織の概要	-1 名称及び代表者名	株式会社 北島コーポレーション 代表取締役 北島 大介	
	-2 所在地	本社：徳島県徳島市金沢町1丁目2番3号 倉庫：徳島市末広4丁目297番地2	
	-3 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	環境管理責任者 代表取締役 北島 大介 TEL：088-664-2141 環境事務局 専務取締役 福田 健志	
	-4 事業内容	土木工事業 建築工事業 大工工事業 とび・土工工事業 石工事業 屋根工事業 タイル・れんが・ブロック工事業 鋼構造物工事業 舗装工事業 しゅんせつ工事業 内装仕上工事業 水道施設工事業 解体工事業 一級建築士事務所登録	
	-5 事業の規模	売上 約13億円 2023年度見込み 主要工事件数 10件 従業員数 14名 延べ床面積 本社：422㎡ 倉庫：120.5㎡	
	-6 事業年度	7月～翌6月	
	■認証・登録の対象組織・活動	登録組織名： 株式会社 北島コーポレーション 活動： 上記の許可の活動	

株式会社 北島コーポレーション 環境経営方針

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、当社の事業活動における環境負荷の低減や建設工事による社会の環境負荷低減を推進するために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

<行動計画>

1. 次の課題について、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- ①電力・自動車燃料の省エネによる二酸化炭素排出量の削減
- ②建設資材の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③水使用量の削減
- ④化学物質の監視・測定の実施
- ⑤事務所及び作業所にて発生する廃棄物の分別と削減
- ⑥事務所及び作業所にて使用する水・電気・ガスの使用量削減
- ⑦環境に配慮した建築工法の推進
- ⑧グリーン調達の推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 地域の環境保全活動に積極的に参加します。

4. この環境経営方針は全従業員に周知すると共に、社内外に公表します。

制定日：2020年 9月 1日
改定日： 年 月 日



代表取締役
北島 大介

法規及びその他の要求事項の取りまとめと遵守チェック表

承認	作成
環境管理責任者	環境事務局
北島	福田

作成日：2009年 10月 30日 最新改訂日：2022年 8月10日 遵守評価日：2024年 7月 4日

環境関連法規等の名称	要求事項	遵守状況の確認	遵守評価
廃棄物処理法	・保管基準（掲示板表示） ・産業廃棄物収集運搬・処分業者との契約書 ・マニフェスト交付 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書 ・多量排出事業者処理計画書/実施状況報告書	確認及び遵守	○
大気汚染防止法	・特定粉じん等排出作業 ・廃石綿の事前調査報告	遵守	○
特定建設作業 （騒音に関する規制）	・規制基準の遵守	遵守	○
特定建設作業 （振動に関する規制）	・規制基準の遵守	遵守	○
建設リサイクル法	・分別解体等及び再資源化等	遵守	○
フロン排出抑制法 （地球温暖化対策）	・3ヶ月ごとの自主簡易点検（7.5kw未満） ・指定業者への処理依頼（7.5kw以上又は修理） ・施主様への御説明	遵守	○
フロン排出抑制法 解体工事(改修工事)	・冷媒用フロンの排出抑制の措置	遵守	○
浄化槽法	・施主様への御説明(定期点検・清掃・水質に関する検査)	遵守	○
下水道法	・排水水の基準を遵守	遵守	○
家電リサイクル法	・指定業者への処理依頼	該当なし	
徳島県環境基本条例	・規制基準の遵守(事業者の責務)	遵守	○
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	・規制基準の遵守(環境マネジメントシステムの導入等)	遵守	○
徳島市環境基本条例	・規制基準の遵守(事業者の役割)	遵守	○
その他市町村の環境基本条例	・規制基準の遵守	遵守	○

■違反・訴訟の有無 関連法規の遵守状況は上記の通りで、過去3年間環境関連法規等の違反・訴訟はありません。

環境経営目標及び環境経営計画（本社）
（達成状況・評価表含む）

承認	作成
令和6年7月4日	令和6年7月4日
北島	福田

【中期目標及び単年度目標】

項目	項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
炭酸ガス排出量 ※(現場と合算)	目標値(1%減/年)	Kg-CO2/年	35,800	35,400	35,000	34,600
	実績		62,451	40,022		
	達成率%		57.3	88.5		
上水使用量	目標値(1%減/年)	m³/年	169	167	165	163
	実績		121	127.5		
	達成率%		140	131		
廃棄物排出量	目標値(1%減/年)	t/年	0.83	0.82	0.81	0.8
	実績		0.838	0.836		
	達成率%		99.0	98.1		
事務用紙使用量	目標値(1%減/年)	枚/年	64,200	63,600	63,000	62,400
	実績		63,900	63,500		
	達成率%		100.5	100.2		
清掃活動 ※(現場と合算)	目標値10回限度	回/年	10	10	10	10
	実績		10	10		
	達成率%		100	100		

※基準値は、2019・2020・2021年度の平均値(36,200)を採用

四国電力のCO2排出係数（2018年度実績）

調整後排出係数 0.528kg-CO2/kWh

【総評】

2023年度は、大型工事もあり前年よりは改善されたが一部未達成に終わった。
建設業が請負業として仕方がない面もあるが、来期は無駄の排除及び効率化し、目標達成する。

【環境経営計画（本社）】

①電力使用量の削減

- ・夏場の冷房温度を27℃に設定する。
- ・冬場の暖房温度を20℃に設定する。
- ・照明機器・クーラー・窓の掃除を年一回実施する。
- ・パソコン・コピー機等の未使用時は、省電力消費になる様設定する。
- ・お昼休みは、建設現場事務所及び本社事務所の全館消灯を実施する。
- ・空調・冷却設備のこまめな点検・確認をする。
- ・未使用スペースの冷房・暖房及び照明は禁止する。

②燃料使用量の削減

- ・社用車の燃費向上の為、経済的な運転・こまめな整備をする。
- ・同じ目的地への移動は、出来るだけ同乗する。
- ・今後の社用車の購入時には、低燃費車を検討する。

③上水使用量の削減

- ・水道の蛇口に節水コマをつける等、節水に心掛ける。
- ・水道配管からの水漏れを、定期的に点検する。
- ・節水型の家電製品・水洗トイレ等を積極的に導入する。

④廃棄物排出量の削減及び事務用紙使用量の削減

- ・電子メール等の活用・使用済み用紙の裏面使用による、紙屑排出量の低減に努力する。
- ・不要になったサンプル品・カタログ等の協力業者返却を促す。

⑤環境への取組

- ・使用資材の化学物質の適正管理をする。
- ・協力会社に対する環境への取組参加の促進。
- ・社内の5S活動は勿論、ボランティア清掃活動に積極参加する。
- ・環境に配慮した省エネ・省資源型の設計を行う。
- ・施主に対し、可能な範囲で環境にやさしい施工の推進、環境配慮型製品の提案・販売の促進を行う。

【評価】

事務所に關しては、おおむね満足出来る結果だと思われる。

現場に關しては大きな現場があり、昨年よりは改善したが目標値を守れなかった。

今年はインフラ整備は無かったが、来期もエコ製品や環境改善に關心を持ち続けるようにする。

【次年度の環境経営計画（本社）】

①電力使用量の削減

- ・夏場の冷房温度を27℃に設定する。
- ・冬場の暖房温度を20℃に設定する。
- ・照明機器・クーラー・窓の掃除を年一回実施する。
- ・パソコン・コピー機等の未使用時は、省電力消費になる様設定する。
- ・お昼休みは、建設現場事務所及び本社事務所の全館消灯を実施する。
- ・空調・冷却設備のこまめな点検・確認をする。
- ・未使用スペースの冷房・暖房及び照明は禁止する。

②燃料使用量の削減

- ・社用車の燃費向上の為、経済的な運転・こまめな整備をする。
- ・今後の社用車の購入時には、低燃費車を検討する。
- ・同じ目的地への移動は、出来るだけ同乗する。

③上水使用量の削減

- ・水道の蛇口に節水コマをつける等、節水に心掛ける。
- ・水道配管からの水漏れを、定期的に点検する。
- ・節水型の家電製品・水洗トイレ等を積極的に導入する。

④廃棄物排出量の削減及び事務用紙使用量の削減

- ・電子メール等の活用・使用済み用紙の裏面使用による、紙屑排出量の低減に努力する。
- ・不要になったサンプル品・カタログ等の協力業者返却を促す。

⑤環境への取組

- ・使用資材の化学物質の適正管理をする。
- ・協力会社に対する環境への取組参加の促進。
- ・社内の5S活動は勿論、ボランティア清掃活動に積極参加する。
- ・環境に配慮した省エネ・省資源型の設計を行う。
- ・施主に対し、可能な範囲で環境にやさしい施工の推進、環境配慮型製品の提案・販売の促進を行う。

2023年度 環境活動実施計画書（本社）

作成者 福田

(達成状況・評価時期：9月 12月 翌3月 6月)

重要テーマ	具体的項目	担当者	スケジュール 7 8 9/10 11 12/1 2 3/4 5 6月	達成状況/是正策 (環境管理責任者)北島			
				1Q	2Q	3Q	4Q
【環境経営目標】	- 炭酸ガス排出量 - 上水使用量 - 廃棄物排出量 - 事務用紙使用量 - 清掃活動	総務部		○	◎	○	◎
				◎	◎	◎	◎
			→	◎	◎	◎	◎
				◎	◎	◎	◎
				◎	◎	◎	◎
【環境活動計画】 ①電力使用量の削減	- 夏場の冷房温度を下限27℃に設定する - 冬場の暖房温度を上限20℃に設定する - 照明機器、クーラー、窓の掃除を年1回実施する - パソコン、プリンタ等の未使用時は、省電力消費になる様設定する - お昼休みは、現場事務所及び本社事務所の全館消灯を実施する - 空調・冷却設備のこまめな点検・確認をする - 未使用スペースの冷房・暖房及び照明は禁止する	総務部		○	—	—	◎
				—	◎	○	—
			→	◎	◎	◎	◎
				◎	◎	◎	◎
				◎	◎	◎	◎
②燃料使用量の削減	- 今後の社用車の購入時には、低燃費車を検討する - 同じ目的地への移動は、出来るだけ同乗する - 社用車の燃費向上の為、経済的な運転・こまめな整備を心掛ける	総務部		—	—	—	—
		全社員	→	◎	◎	◎	◎
				◎	◎	◎	◎
③上水使用量の削減	- 水道の蛇口に節水コマを付ける等、節水に心掛ける - 水道配管からの水漏れを、定期的に点検する - 節水型の家電製品・水洗トイレ等を積極的に導入する	総務部		◎	◎	◎	◎
			→	◎	◎	◎	◎
				—	—	—	—
④廃棄物排出量の削減及び 事務用紙使用量の削減	- 電子メール等の活用・使用済み用紙使用による、紙くず排出量の低減に努力する - 不要になった消耗品・加圧機等の協力会社返却を促す	総務部	→	◎	◎	◎	◎
				◎	◎	◎	◎
⑤環境への取組	- 使用資材の化学物質の適正管理をする。 - 協力会社に対する環境への取組参加の促進 - 社内SS活動は勿論、ボランティア活動に積極的に参加する	総務部		◎	◎	◎	◎
				◎	◎	◎	◎
			→	◎	◎	◎	◎
	- 環境に配慮した省エネ・省資源型の設計を行う - 施主に対し、可能な範囲で環境にやさしい施工の推進、環境配慮型製品の提案販売の促進を行う	営業部		○	○	○	○
				◎	◎	◎	◎

注：達成状況 ◎充分出来ている ○ほぼ出来ている △未だ不十分 ×出来ていない

重要テーマ	1Q評価/指示(社長) 評価日 2023年10月14日	2Q評価/指示(社長) 評価日 2024年 1月15日	3Q評価/指示(社長) 評価日 2024年 4月12日	4Q評価/指示(社長) 評価日 2024年 7月4日
環境目標	1Qにおいては、まだまだ満足出来るレベルに達していないと思う。 2Qは改善して行きたい。	2Qにおいては、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 3Qも継続して行きたい。	3Qにおいては、まだまだ満足出来るレベルに達していないと思う。 4Qは改善して行きたい。	4Qにおいては、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 次年度も継続して行きたい。
環境活動計画 ①電力使用量の削減	現場監督が帰社している為、また猛暑により使用量の増加が見られる。 2Qは改善して行きたい。	概ね満足出来るレベルに達したと思う。 3Qも目標継続して行きたい。	現場監督が帰社している為、また寒さにより使用量の増加が見られる。 4Qは改善して行きたい。	概ね満足出来るレベルに達したと思う。 次年度も継続して行きたい。
②燃料使用量の削減	概ね満足出来るレベルに達したと思う。 2Qも目標継続して行きたい。	概ね満足出来るレベルに達したと思う。 3Qも目標継続して行きたい。	概ね満足出来るレベルに達したと思う。 4Qも目標継続して行きたい。	概ね満足出来るレベルに達したと思う。 次年度も目標継続して行きたい。
③上水使用量の削減	各項目に対し、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 2Qも継続して行きたい。	各項目に対し、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 3Qも継続して行きたい。	各項目に対し、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 4Qも継続して行きたい。	各項目に対し、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 次年度も継続して行きたい。
④廃棄物排出量の削減 及び事務用紙使用量の削減	各項目に対し、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 2Qも継続して行きたい。	各項目に対し、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 3Qも継続して行きたい。	各項目に対し、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 4Qも継続して行きたい。	各項目に対し、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 CD配布・メールの活用は、今年も効果大。次年度も継続したい。
⑤環境への取組	各項目に対し、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 施主に理解を得て、設計・施工段階にて環境配慮を推進する。 2Qも継続して行きたい。	各項目に対し、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 3Qも継続して行きたい。	各項目に対し、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 従来から継続している清掃活動も近隣より評価されている。 4Qも継続して行きたい。	各項目に対し、概ね満足出来るレベルに達したと思う。 他のボランティア活動へ積極参加する。 次年度も継続して行きたい。

環境経営目標及び環境経営計画（建設現場）
（達成状況・評価表含む）

承認	作成
令和6年7月8日	令和6年7月8日
北島	福田

【中期目標及び単年度目標】

項目	項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
炭酸ガス排出量	目標値(1%減/年) 実績 達成率%	Kg-CO2/年	本社にて合算	本社にて合算	本社にて合算	本社にて合算
上水使用量	目標値(1%減/年) 実績 達成率%	m ³ /年	1,820 3,908 46.5	1,800 186.5 965.1	1,780	1,760
再資源化率	目標値(0.1%増/年) 実績 達成率%	%/年	96.1 99.8 104	96.2 99.7 104	96.3	96.4
化学物質使用量	監視・測定のみ 実績 達成率%	Kg/年	— 405 —	— 694 —	— —	— —
事務用紙使用量	目標値(1%減/年) 実績 達成率%	枚/年	27,600 27,400 100.7	27,300 27,000 101.1	27,000	26,700
環境配慮型工法 及び施工提案	目標値 実績 達成率%	件/年	14 14 100	15 16 106	16	17
清掃活動	目標値10回限度 実績 達成率%	回/年	本社にて合算	本社にて合算	本社にて合算	本社にて合算

四国電力のCO2排出係数（2018年度実績）

調整後排出係数 0.528kg-CO2/kWh

【総評】

2023年度は、おおむね満足出来る結果となりました。
但し上水使用量に関しては、多くの現場で水道供給があり、結果として使用量減となりました。
来期も、本年同様目標達成の為に削減を積み重ねて行く。

※再資源化率99.7%は、年間発生量4,984トンに対して

【環境経営計画（建設現場）】

①電力使用量の削減

- ・パソコン・コピー機等の未使用時は、省電力消費になる様設定する。
- ・お昼休みは、建築中の建物及び現場事務所の全館消灯を実施する。
- ・建設中の建物及び現場事務所における、未使用スペースの空調及び照明は禁止する。

②燃料使用量の削減

- ・社用車の燃費向上の為、経済的な運転・こまめな整備をする。
- ・同じ目的地への移動は、出来るだけ同乗する。
- ・建設機械等の、アイドリングストップ・省エネ運転を徹底する。

③上水使用量の削減

- ・水道の蛇口に節水コマをつける等、節水に心掛ける。
- ・建設中現場において、不必要な散水は禁止する。

④廃棄物排出量の削減及び事務用紙使用量の削減

- ・電子メール等の活用・使用済み用紙の裏面使用による、紙屑排出量の低減に努力する。
- ・不要になったサンプル品・カタログ・梱包材等の協力業者返却を促す。
- ・現場にて発生する産業廃棄物の削減・分別・リサイクル等により、排出量を削減し再資源化率の向上を図る。

⑤自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する環境目標について

- ・使用する資材における再生資源等の環境配慮製品の情報を収集する。
- ・出件時に、建築物の環境負荷を軽減する事を検討する為の施工計画会議を設置する。

⑥化学物質の監視・測定方法

- ・現場毎に、保管状況・使用量を把握する。

⑦環境への取組

- ・使用資材の化学物質の適正管理、及び可能な範囲で低減する。
- ・協力会社に対する環境への取組参加の促進。
- ・社内の5S活動は勿論、ボランティア清掃活動に積極参加する。
- ・省エネ・省資源型の建設機械の積極的使用。
- ・可能な範囲での、環境配慮型工法の採用・環境配慮型施工の提案をする。

⑧その他

- ・顧客・協力会社に対して、エコアクション21への取組の意志表示をする。

【評価】

2023年度は、おおむね満足出来る結果となりました。

上水使用量に関しては、多くの現場で水道供給があり、結果として使用量減となりましたがこれに甘えず、来期も目標達成に向け削減の積み上げを行う。

【次年度の環境経営計画（建設現場）】

①電力使用量の削減

- ・パソコン・コピー機等の未使用時は、省電力消費になる様設定する。
- ・お昼休みは、建築中の建物及び現場事務所の全館消灯を実施する。
- ・建設中の建物及び現場事務所における、未使用スペースの空調及び照明は禁止する。

②燃料使用量の削減

- ・社用車の燃費向上の為、経済的な運転・こまめな整備をする。
- ・同じ目的地への移動は、出来るだけ同乗する。
- ・建設機械等の、アイドリングストップ・省エネ運転を徹底する。

③上水使用量の削減

- ・水道の蛇口に節水コマをつける等、節水に心掛ける。
- ・建設中現場において、不必要な散水は禁止する。

④廃棄物排出量の削減及び事務用紙使用量の削減

- ・電子メール等の活用・使用済み用紙の裏面使用による、紙屑排出量の低減に努力する。
- ・不要になったサンプル品・カタログ・梱包材等の協力業者返却を促す。
- ・現場にて発生する産業廃棄物の削減・分別・リサイクル等により、排出量を削減し再資源化率の向上を図る。

⑤自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する環境目標について

- ・使用する資材における再生資源等の環境配慮製品の情報を収集する。
- ・出件時に、建築物の環境負荷を軽減する事を検討する為の施工計画会議を設置する。

⑥化学物質の監視・測定方法

- ・現場毎に、保管状況・使用量を把握する。

⑦環境への取組

- ・使用資材の化学物質の適正管理、及び可能な範囲で低減する。
- ・協力会社に対する環境への取組参加の促進。
- ・社内の5S活動は勿論、ボランティア清掃活動に積極参加する。
- ・省エネ・省資源型の建設機械の積極的使用。
- ・可能な範囲での、環境配慮型工法の採用・環境配慮型施工の提案をする。

⑧その他

- ・顧客・協力会社に対して、エコアクション21への取組の意志表示をする。

2023年度 環境活動実施計画書（現場）

作成者 福田

（達成状況・評価）7月 9月 12月 翌3月 6月

重要テーマ	具体的項目	担当者	スケジュール 7 8 9 / 10 11 12 / 1 2 3 / 4 5 6月	達成状況/是正策 (環境管理責任者)北島			
				1Q	2Q	3Q	4Q
				○	○	○	○
【環境経営目標】	- 炭酸ガス排出量 - 上水使用量 - 再資源化率 - 化学物質使用量 - 事務用紙使用量 - 環境配慮型工法及び施工提案 - 清掃活動	各現場所長		×	○	×	×
				○	○	○	○
				○	○	○	○
【環境活動計画】	①電力使用量の削減 - パソコン、プリンタ等の未使用時は、省電力消費になる様設定する - お昼休みは、建設中の建物及び現場事務所の全館消灯を実施する - 建設中の建物及び現場事務所における、未使用パソコンの空調及び照明は禁止する	全現場員		監視測定のみ			
				○	○	○	○
				○	○	○	○
②燃料使用量の削減	- 社用車の燃費向上の為、経済的な運転・こまめな整備を心掛ける - 同じ目的地への移動は、出来るだけ同乗する - 建設機械等の、アイドリングストップ・省エネ運転を徹底する	全現場員		○	○	○	○
				○	○	○	○
				○	○	○	○
③上水使用量の削減	- 水道の蛇口に節水コマを付ける等、節水に心掛ける - 建設中の現場において、不必要な散水は禁止する	全現場員		○	○	○	○
				○	○	○	○
				○	○	○	○
④廃棄物排出量の削減及び事務用紙使用量の削減	- 電子メール等の活用・使用済み用紙使用による、紙くず排出量の低減に努力する - 不要になった消耗品・加圧機等の協力会社返却を促す - 現場にて発生する産業廃棄物の削減・分別・リサイクル等により排出量を削減し再資源化率の向上を図る。	全現場員		○	○	○	○
				○	○	○	○
				○	○	○	○
⑤自らが施工・販売する製品及びサービスに関する環境目標について	- 使用する資材における再生資源等の環境配慮製品の情報を収集する - 出件時に、建築物の環境負荷を軽減する事を検討する為の施工計画会議を設置する。	各現場所長		○	○	○	○
				○	○	○	○
				○	○	○	○
⑥化学物質の監視・測定	現場毎に保管状況・使用量を把握する	各現場所長		○	○	○	○
				○	○	○	○
				○	○	○	○
⑦環境への取組	- 使用資材の化学物質の適正管理、及び可能な範囲で低減する - 協力会社に対する環境への取組参加の促進 - 社内5S活動は勿論、ボランティア活動に積極的に参加する - 省エネ・省資源型の建設機械の積極的使用 - 可能な範囲での、環境配慮型工法の採用・環境配慮型施工の提案をする	各現場所長		○	○	○	○
				○	○	○	○
				○	○	○	○
⑧その他	顧客・協力会社に対して、環境活動21への取組活動スタートの意思表示をする	各現場所長		○	○	○	○

注：達成状況 ○充分出来ている ○ほぼ出来ている △未だ不十分 ×出来ていない *事務所と共通

重要テーマ	1Q評価/指示(社長) 評価日 2023年10月14日	2Q評価/指示(社長) 評価日 2024年 1月15日	3Q評価/指示(社長) 評価日 2024年 4月12日	4Q評価/指示(社長) 評価日 2024年 7月8日
【環境目標】	満足出来るレベルに達していると思う。 2Qも継続して行きたい。	満足出来るレベルに達していると思う。 3Qも継続して行きたい。	満足出来るレベルに達していると思う。 4Qも継続して行きたい。	受注に左右される項目は仕方ないが、 それ以外は概ね満足できるレベルに達していると思われる。 次年度も継続して行きたい。
【環境活動計画】 ①電力使用量の削減	増加傾向だが、現場要因で左右する為 仕方がない。 2Qは頑張りたい。	満足出来るレベルに達していると思う。 3Qも継続して行きたい。	増加傾向だが、現場要因で左右する為 仕方がない。 4Qは頑張りたい。	増加傾向だが、現場要因で左右する為 仕方がない。 次年度は頑張りたい。
②燃料使用量の削減	増加傾向だが、現場要因で左右する為 仕方がない。 2Qは改善して行きたい。	増加傾向だが、現場要因で左右する為 仕方がない。 3Qは改善して行きたい。	概ね満足できるレベルに達していると思 われる。 4Qも継続して行きたい。	概ね満足できるレベルに達していると思 われる。 次年度も継続して行きたい。
③上水使用量の削減	概ね満足できるレベルに達していると思 われる。 2Qも継続して行きたい。	概ね満足できるレベルに達していると思 われる。 3Qも継続して行きたい。	概ね満足できるレベルに達していると思 われる。 4Qも継続して行きたい。	概ね満足できるレベルに達していると思 われる。 次年度も継続して行きたい。
④廃棄物排出量の削減 及び事務用紙使用量の 削減	産業廃棄物・事務用紙使用量は共に満足 出来るレベルに達していると思う。 2Qも継続して行きたい。	産業廃棄物・事務用紙使用量は共に満足 出来るレベルに達していると思う。 3Qも継続して行きたい。	産業廃棄物・事務用紙使用量は共に満足 出来るレベルに達していると思う。 4Qも継続して行きたい。	産業廃棄物・事務用紙使用量は共に満足 出来るレベルに達していると思う。 次年度も継続して行きたい。
⑤自らが施工・販売・提 供する製品及びサービスに 関する環境目標について	満足出来るレベルに達していると思う。 2Qも継続して行きたい。	満足出来るレベルに達していると思う。 3Qも継続して行きたい。	満足出来るレベルに達していると思う。 4Qも継続して行きたい。	満足出来るレベルに達していると思う。 次年度も継続して行きたい。
⑥化学物質の監視・測定	満足出来るレベルに達していると思う。 2Qも継続して行きたい。	満足出来るレベルに達していると思う。 3Qも継続して行きたい。	満足出来るレベルに達していると思う。 4Qも継続して行きたい。	満足出来るレベルに達していると思う。 次年度も継続して行きたい。
⑦環境への取組	各項目に対し、概ね満足できるレベル に達していると思われる。 施主に理解を得て、設計・施工段階に て環境配慮を推進する。 2Qも継続して行きたい。	各項目に対し、概ね満足できるレベル に達していると思われる。 3Qも継続して行きたい。	各項目に対し、概ね満足できるレベル に達していると思われる。 従来から継続している清掃活動も近隣 より評価されている。 4Qも継続して行きたい。	各項目に対し、概ね満足できるレベル に達していると思われる。 他のボランティア活動へ積極参加する。 次年度も継続して行きたい。
⑧その他	概ね満足できるレベルに達していると思 われる。 顧客・取引先へEA21への取組をアピ ールし協力を得る。	概ね満足できるレベルに達していると思 われる。 3Qも継続して行きたい。	概ね満足できるレベルに達していると思 われる。 4Qも継続して行きたい。	概ね満足できるレベルに達していると思 われる。 次年度も継続して行きたい。

認証・登録の適用範囲
住所：徳島市金沢1-2-3
関連事業所：なし
活動：総合建設業



	役割・責任・権限
社長	・代表者による経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人・設備・費用・時間・技能技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標の設定を承認 ・総務部長職の兼務 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実施し、管理する ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境活動実施計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	・環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等のチェックリスト」の作成 ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
各部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の管理及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応の為の手順書作成、テスト訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
各現場所長	・自現場における、環境目標及び環境活動計画の実施 ・協力業者への指導
全従業員	・環境経営方針の理解と、環境への取組の重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主性・積極的に環境活動へ参加
協力業者	・環境への取組の協力を要請

EA-14	代表者による全体の評価と見直し指示記録 (適切性・妥当性・有効性の確認)		P16 代表者
			北島
作成日(実施日)：2024年 7月 11日			社長
見直しに必要な情報		変更の必要性の有無・指示事項	
(環境管理責任者の報告)	(環境管理責任者のコメント・提案)	(代表者)	
【取組状況の評価結果】 ・法的要求事項の順守状況 問題なし ・是正及び予防処置の状況 ○ ・前回までの指摘事項の改善他 問題なし	【環境経営方針】 今年度も、受注状況に左右された年になったと思う。 請負業ゆえ仕方がないが、引き続き次年度も改善する。	【環境経営方針】 特になし 変更の必要性： 無 【実施体制】 問題なし 変更の必要性： 無	
【目標の達成度】 事務所に關しては、概ね目標達成に近い水準。 次年度は、全ての項目を目標達成する。 現場に關しては、炭酸ガス排出量が目標値を上回ったが、昨年よりは改善したし、受注状況により仕方ないと思う。 次年度は改善したい。	【目標】 各部門が目標に向かって努力している。 人手不足の中、よく頑張っていると思う。 未達成項目は建設業ゆえに仕方がない部分もあるが、次年度に向け改善する。	【目標・環境活動計画】 未達項目の再考及び達成強化 変更の必要性： 無 【従業員への指示】 環境経営目標の基準値を遵守し、次年度から目標達成を強化する事。 変更の必要性： 無	
【周囲の変化状況】 ・外部コミュニケーション 特になし ・法的要求事項の動向他 特になし	【システムの各要素】 建設業の場合、目標達成には工事規模や工法、解体の有無等に多大な影響を受ける。 運用面で厳しい場面はあるが、改善する。	【経営システムの各要素】 本年度も、大きな工事が多く一部未達成項目が出る結果となりました。 建設業の運用面での難しさはありますが、可能な範囲で検討し、更なる積上にて次年度は目標達成する。 2017年度版の運用は、難しい部分もある。 これまで以上に、事業経営を意識した運用を心掛けたい。 変更の必要性： 無	